

平成28年(2016年)7月15日 (金曜日)

「延期を」「時間かけて」モデル案

三島駅南口再開発の整備構想

方向性を意見交換

JR三島駅南口の再開発事業について整備構想を議論する「みん

なで語ろう!三島駅南口」が13日夜、三島市民文化会館で開かれた。参加団体は事業モデル案の発表やパネル

豊岡武土市長はこれまでの経緯を踏まえ、民間活力を利用した事業案を説明。①東街区はマンションや診療所などを建設し、各施設などへの回遊性も加える

②西街区はインバウンド観光客、国内観光客のハブ施設を戦略ター

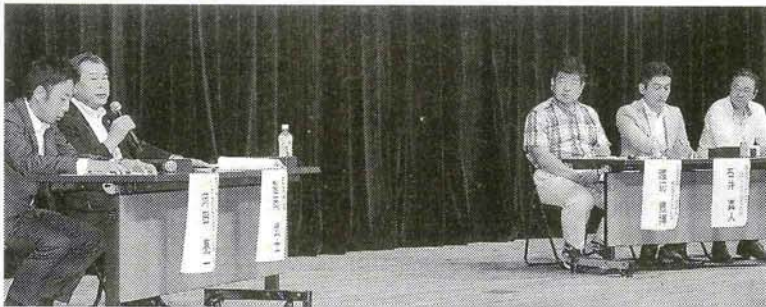
ゲットに、飲食や情報発信などを備えたホテル建設の考えを示した。市民の会の渡辺豊博

代表は、高層マンションやホテルの建設による懸念を説明、提言した上で、再開発事業の延期を求めた。「大社の杜(もり)

があるが、水の杜を造れば新しい観光スポットとなる」と述べ、回遊性や自然などに影響を与えない空間をつくり直す計画を示した。

若者の会の石井真人代表は「よき取りよくする」と湧水への影響を訴えた。石井代表は「もう

少し自分たちの考えを盛り込んでほしい」と求めた。室伏代表は「多くの人が訪れる場所になるようにしてもらいたい」と話した。豊岡市長は「さまざまな配慮をしつつ、やることはやっていかなければ持続的な三島の発展にはつながらない」と述べた。



パネルディスカッションで意見交換する参加団体の代表者＝三島市民文化会館

パネルディスカッションで意見交換する参加団体の代表者＝三島市民文化会館